

## 蒲公英は、食を通して社会貢献・

平成27年6月から蒲公英では、つくねの生産(仕込み)を「社会福祉法人北摂杉の子会」さんに業務委託しています。



十三にある、杉の子会さんは現在30名の障害者の方が在籍され支援されています。

杉の子会さんの理念は「地域に生きる」、知的障害や発達障害があっても一人の人間、市民として普通の生活が送れる優しさのある社会、地域を作っていきたいという思いで運営されています。

主任の奥平さんは、障害者の方が国からの手当だけで生活するのは困難であり、障害の重さが違う利用者一人ひとりに見合った仕事を与えてあげることが大切で私達の仕事のひとつだと話されていました。しかし、世間一般にはなかなか受け入れてもらえず、障害者の方に見合った仕事が見つからないのが悩みだそうです。

つくねの業務委託をお願いしたきっかけは、杉の子会さんからたんぼぼ十三店に店の掃除をさせてもらえないかというお話をいただいたことでした。その時、話を聞く中で杉の子会さんの施設で既にコロッケを作られていることを知り、それなら自社のつくねも作れないだろうか?と考え施設を見学させてもらい、これならいける! WinWinの関係が築けるのではと確信したからです。

業務委託当初は、月に2500本生産していたつくねが現在では月3500本に増えています。当初からつくねの仕込みを行って下さっている自閉症の福留さんも最初は1本の大きさに計量することが仕事でした。しかし今では、玉ねぎのみじん切りやつくねの整形、時には十三店への配達を行う程出来る仕事が増えています。今は、つくねの整形が一番楽しい仕事だそうです。そして何よりつくねの仕事をすることになりお給料が増えたことが一番嬉しいそうです。

日々、私達がお客様に提供しているつくねが、杉の子会さんを通して社会貢献に役立ち、障害者の方も杉の子会のスタッフさんも仕事への喜びと楽しさを感じ作って下さっていることが、私達にとっても嬉しいことです。

これからも蒲公英は、食を通して社会貢献・地域貢献に取り組んでいきたいと思っております。

## 地域貢献に取り組んでいます。

株式会社蒲公英の取り組みは、新聞や雑誌など各種メディアにも多く取り上げられています。



経済産業省創設の「おもてなし企業」に蒲公英が選ばれました!

